三重県
Mie Prefectural Government

資料２




# 【松阪地域】
# 具体的対応方針について

三重県医療政策課

# 松阪区域の具体的対応方針（令和８(2026)年度） ・病床機能の現状

- 令和７年度の病床機能報告や令和８年度のアンケートをもとに、変更した点を中心に、今回あらためて地域の課題もふまえ、具体的対応方針を確認・協議いただく。

| 医療機関名 | 担うべき医療機関としての役割 | 医療機能ごとの病床数 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 高度急性期 | 急性期 | 地域急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟・無回答等 | 計 |
| | | 上段：令和8(2026)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】<br>下段：令和9(2027)年に向けた病床数 | | | | | | |
| 松阪中央総合病院 | 救命救急センターとして3次医療圏救急に対応すると共に、災害拠点病院として、災害時における医療搬送体制において中核的な役割を担うべく、大規模災害に耐えうる体制作りに取り組む。がん診療連携拠点病院・がんゲノム連携病院として、地域のがん治療の中心的な役割を担う。また、高度急性期～急性期や政策医療に対応し、地域医療の中心的な役割を担う。。 | 82<br>92 | 329 | 19 | | | 10 | 440<br>440 |
| 済生会松阪総合病院 | 三重県済生会が松阪市民病院の指定管理者となったことにより、済生会松阪総合病院、済生会松阪市民病院、済生会明和病院の3病院を一体とした連携強化を進め、高度急性期から回復期、慢性期まで切れ目のない医療の提供に取り組む。 | 73<br>73 | 287<br>287 | 20<br>20 | | | | 380<br>380 |
| 済生会松阪市民病院 | 松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院及び松阪市民病院は、2025年に向けて3病院の機能分化・連携に関する検討を進め、各病院の役割の明確化に取り組む。 | 5<br>5 | 226<br>178 | 75<br>75 | | 20<br>20 | | 326<br>278 |
| 済生会明和病院 | 県南部の回復期リハビリテーションの一拠点として、急性期病院とのさらなる連携強化に取り組むとともに、医療的ケアを必要とする障がい児（者）の支援拠点としての役割を担う。 | | | 20<br>20 | 180 | 4【46】 | | 204<br>204 |

**松阪中央総合病院** 休棟中の10床について、救命救急センター・三重県のメディカルチェックセンターとしての役割を担うべく、高度急性期病床10床として、利用できる体制づくりを検討。

# 松阪区域の具体的対応方針（令和８(2026)年度） ・病床機能の現状

| 医療機関名 | 担うべき医療機関としての役割 | 医療機能ごとの病床数 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 高度急性期 | 急性期 | 地域急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟・無回答等 | 計 |
| | | 上段 ： 令和8(2026)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】<br>下段 ： 令和9(2027)年に向けた病床数 | | | | | | |
| 大台厚生病院 | 紀勢地域の唯一の病院として、高齢者救急を中心とした急性期医療の確保に取組むとともに、整形外科手術や人工透析など、地域での医療供給が不足する分野に注力する。また、転院受入れのための回復期機能や、長期療養の受け皿となる慢性期機能を充実させるとともに、在宅復帰支援を併せ持つ地域包括ケアシステムの要としての役割を果たしていく。 | | | 57<br>57 | | 53<br> | | 110<br>110 |
| 松阪厚生病院 | 精神科疾患を有した、身体科急性期疾患治療を行える病床としての機能を維持するほか、引き続き慢性期機能を担う。 | | | 55<br> | | 135<br>135 | | 190<br>190 |
| 三重ハートセンター | 循環器疾患に特化した専門病院として、入院を主体とした高度先進医療を提供する。 | 45<br> | | | | | | 45<br>45 |
| 花の丘病院 | 急性期病院の後方支援や、地域の在宅医療の支援を行い、回復期・慢性期機能を担う。 | | | | 45<br> | 51<br> | | 96<br>96 |
| 桜木記念病院 | 地域包括ケア病床の整備に取り組み、慢性期機能とともに地域において不足する回復期機能を担う。 | | | | | 60<br>52 | | 60<br>52 |
| 南勢病院 | 地域医療連携の中で、長期にわたり療養が必要な患者を受け入れるとともに、うつ状態や認知症など精神疾患のある身体合併症患者に対して、必要に応じ長期にわたる療養環境を提供する。 | | | | | 51<br> | | 51<br>51 |

# 松阪区域の具体的対応方針（令和８(2026)年度）・病床機能の現状

| 医療機関名 | 担うべき医療機関としての役割 | 医療機能ごとの病床数 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 高度急性期 | 急性期 | 地域急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟・無回答等 | 計 |
| | | 上段：令和8(2026)年7月1日時点の病床数【定量的基準適用後】<br>下段：令和9(2027)年に向けた病床数 | | | | | | |
| 河合産婦人科 | 専門医療を担って病院の役割を補完する機能 | | | | | | 12<br>1 | 12<br>1 |
| 南産婦人科 | 専門医療を担って病院の役割を補完する機能 | | | 14<br>14 | | | | 14<br>14 |
| ナオミレディースクリニック | 専門医療を担って病院の役割を補完する機能 | | | 10<br>10 | | | | 10<br>10 |
| 北大路眼科 | 専門医療を担って病院の役割を補完する機能 | | | 4<br>4 | | | | 4<br>4 |
| わきたに眼科 | 専門医療を担って病院の役割を補完する機能 | | | | 3<br>3 | | | 3<br>3 |
| おかの医院 | 専門医療を担って病院の役割を補完する機能、緊急時に対応する機能 | | | | 1<br>1 | | | 1<br>1 |
| 松阪あのつクリニック | | | | | | | 19<br> | 19<br>19 |
| 松本クリニック | | | | | | | 9<br> | 9<br>9 |

**河合産婦人科**　分娩取扱いを停止中のため。廃止時期は未定で順次削減の予定。

**松阪あのつクリニック**　医師・看護師等スタッフ不足により休床としている。再稼働予定（時期未定）。

**松本クリニック**　職員が不足しているため休床としている（再開予定あり）。

# 松阪区域の具体的対応方針（令和８(2026)年度） ・病床機能の現状

| 松阪地域 | 医療機能ごとの病床数 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 高度急性期 | 急性期 | 地域急性期 | 回復期 | 慢性期 | 休棟・無回答等 | 計 |
| 令和8（2026）年7月1日時点の病床数【定量的基準後】 A | 205 | 842 | 274 | 229 | 374 | 50 | 1974 |
| 令和9（2027）年に向けた病床数【定量的基準後】 B | 215 | 794 | 274 | 229 | 366 | 29 | 1907 |
| | | | 503 | | | | |
| 将来（2030年）の病床数の必要量 C | 222 | 651 | | 606 | 399 | | 1878 |
| B−C | −7 | 143 | −103 | | −33 | | 29 |